

The magazine for high net worth individuals

SEVEN HILLS

セブンヒルズ
世界を舞台に活躍する
資産家のための
マナー&カルチャー誌

7

JULY 2007 Vol.031



洋上の楽園

チャーター&クルーズ

VIPのためのウェルエイジング
アルベール公のエコロジー
アートフェア東京 2007

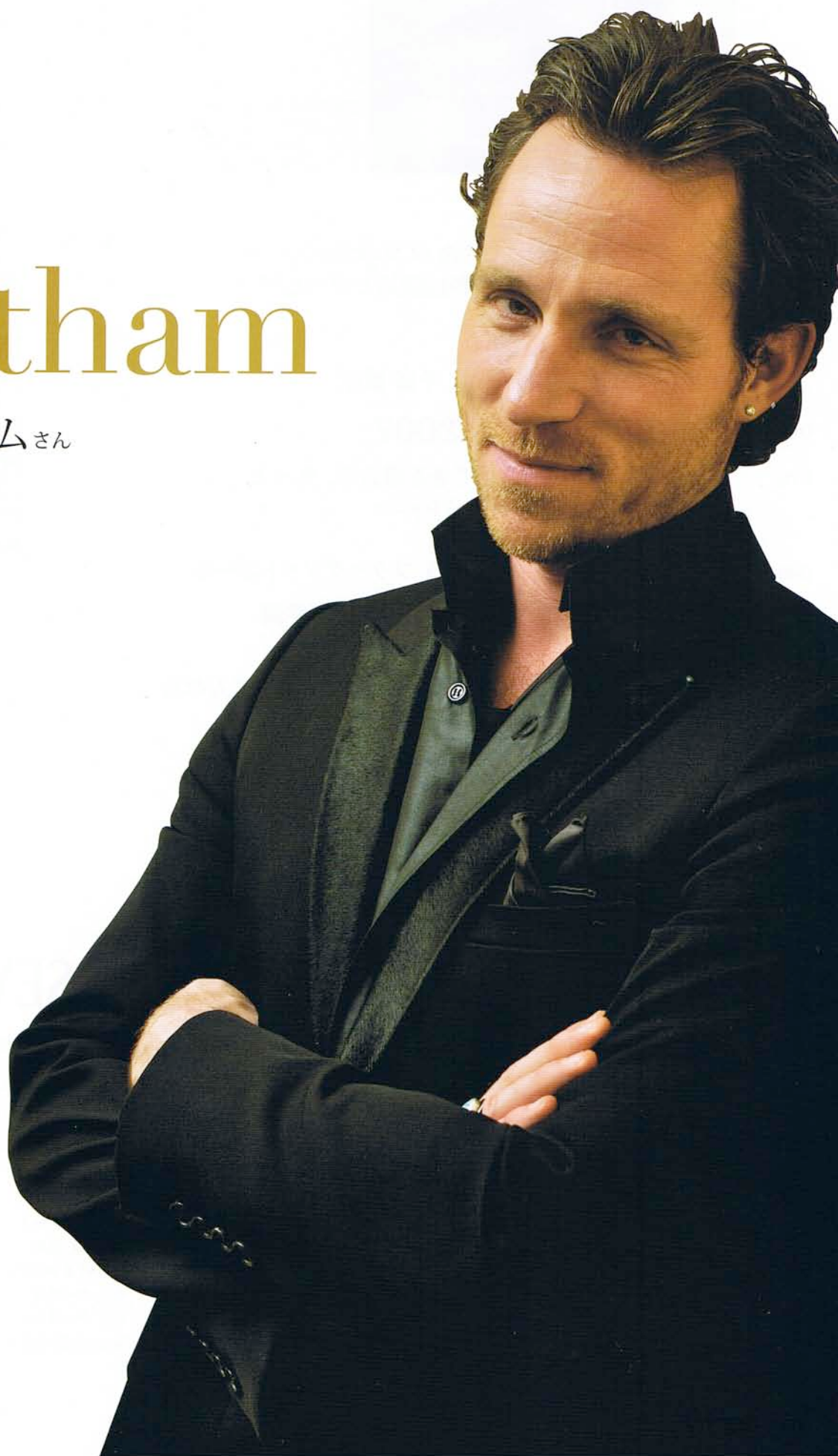
特集

LUXE LIFE
ON THE OCEAN

Jeff Leatham

ジェフ・リーサムさん
フローリスト

フォーシーズンズホテル・ジョルジュサンク・パリのアート・ディレクター。2003年、2004年と2年連続でヨーロッパのベスト・フローリストに選ばれる。フラワーデザインの特別な教育を受けずにピバリーヒルズのフォーシーズンズホテルからキャリアをスタートし、瞬く間に評価される存在となりパリのフォーシーズンズへ。パリのファッショナブルな層のみならずニューヨーク、ロンドンのインテリ層にも高い評価を得、アテネ五輪の公式イベントでのデザインやニューヨークの『MoMA』リニューアルオープンのデザインを担当する





素肌にブラックタイをあしらった全身黒装束の出で立ち。モデル出身で世界中が絶賛するフローリスト、ジェフ・リーサムさんが、そのファッショナブルなデザインのヒント、花との出会いについて語ってくれた。

小川よしのぶ／写真（人物）

——パリのフォーシーズンズホテル・ジョルジュサンクのフラワーアレンジメントには、いつも感心させられます。それはどうもありがとうございます。

——最近是世界中を飛び回っておられて本当にお忙しいそうですね。

実はこの東京の前にはオーストラリアに行っていました。シドニー、メルボルン、ブリスベーンと回ってきたところです。フォーシーズンズの仕事や『VOGUE』誌のカバーストーリーの仕事が中心です。オーストラリアやアジアなど遠距離出張のときはなるべくスケジュールをぎつしり入れるようにしているんですよ。

——どういう内容のお仕事が多いのですか？

フラワーアレンジメントのクラスを開催したり、デモンストレーションをしたりです。だいたい150人くらいの方を対象に。私はいつも参加型のクラスにするよう工夫しているんです。

——しかし、もともとモデルをしていたあなたが、どういうきっかけでこの道に入られたのでしょうか。

モデルは3年間していて最初の年はミラノ、最後の2年はパリにいました。パリに住んでいたとき、たまたまアパートの近くに花屋さんがあって、通るたびに美しい黒いバラが目についたんです。その後LAに戻り、イベント企画の会社を経営している友人に何かそういう仕事はないか聞いてみました。それまではスターバックスやGAPなど、いろんな会社で働いていました。



——ではそのご友人に紹介されたわけですね。

そうですね。ビバリーヒルズ・フォーシーズンズを紹介され、見習いみたいなかたちで入社したんです。掃除をしたり、小さなアレンジを作ったり。最初は週3回の仕事でした。そう言えばフォーシーズンズの仕事を始めてから今年でもう14年目ですね。

——その期間でこれだけ世界的に成功されるとは素晴らしいことです。ところでモデルになる前にも花には興味があったのですか？

いいえ、子どもの頃には全然興味がありませんでした。今でもよく覚えていますが、父に庭仕事を手伝うよう頼まれ、すごくいやだったんです。父は庭仕事が好きで、今考えてみるとそんな父の影響を知らず知らず受けていたのかもしれないが……。

——ではお父様は庭の花も大事にされていたんでしょうね。

父は庭のデザインにとっても熱心な人で、花を使ってひとつの個性的な形を作り上げようとしていました。それも植える花はいつも単色。黄色一色とか紫一色とかでした。私は庭いじりにこそ興味はなかったのですが、子どものときからとにかく有名になりました。それからとに演劇学校にも通って、だからモデルになったのでしょうか。でも、自分がデザインの仕事に携わるなんて思ってもいませんでした。

——ビバリーヒルズでスタートされて、今、仕事の拠点はパリでしょう？

あるとき、ホテルを訪れていたフォーシーズンズ・ジョルジュサンクのマネージャーが私の作品を見てパリに来てほしい、と言ってくれたのがきっかけです。1999年のことで、1カ月の予定で行ったのが今年でもう8年になります。



矢幡 聡子 やはた・さとこ

CORE SLTD.代表取締役。聖心女子学院卒業後、スイス、フランスへ留学。欧州国連本部、小谷正一事務所を経てCORE SLTD.を設立。主な仕事は、国際文化交流事業の企画運営。PRコンサルタント、衛星テレビのプロデューサー、エッセイストとしても活躍。日本UNHCR協会理事

——東京は今回が初めてですか？

5年前に一度来たことがあって、そのときは東京の人たちのすごいエネルギーを感じました。皆、私の作品の価値を分かってくれましたし、とても光栄に感じました。

——今回の来日目的は？

今年リニューアルオープンしたシバヤ西武で、花のおもてなしをするプランがあるんです。今回は館内のフラワーアレンジメント、それにVIPのお客様向けのトークショーをしました。

——これからの夢について聞かせてください。

夢はたくさんあります。これから自分の製品を売り出したいと想っていること。

そして2、3年後にはホテルのデザインをしたいと思っています。デザインだけではなく、ホテルのオーナーにもなりたいです。世界一のホテル、ジョルジュサンのフラワーを手がけてきましたから、自分は何が最高なのか理解できると思っています。

——それは素晴らしい。ではいつかあなたのデザインするホテルに泊まる日を楽しみにしています。